

第35回 地域交流会
令和元年5月16日

JHAT

(日本災害時透析医療
協働支援チーム)

医療法人いつき会 守山いつき病院

本日の目的：

JHATを知り、つなげよう！

Outline : 講演25分・質疑応答5分

1. **JHATの活動とは**

15分

- －隊員の役割・サポート業務・概要説明
- －熊本地震での活動報告
- －支援活動の現状と問題点

2. **受け入れ側の対応・心得**

10分

3. **質疑応答**

5分

医療スタッフも被災者

避難所生活

車での寝泊まり





商品は、裏面にございます

バラエティブレッド

食品 生活物資の枯渇

昨日の地図に伴い、
一部の商品の入荷が
遅れております。
お客さまにはご迷惑をおかけするか
ご了承くださいませようお願いします。

208
224

18
235

119
128

199
199

パン
199
199
199
199

120
120

120
120

120
120

患者はまったなし！



医療スタッフへの支援は？

被災地域を後方からサポートする

1. 日本災害時透析医療協働支援チーム

(Japan Hemodialysis Assistance Team in disaster
:JHAT)

① **2015年12月9日に設立** (透析医療関係コア4団体)

- ・日本透析医会 災害時透析医療対策委員会 (公社)
- ・日本腎不全看護学会 危機管理委員会 (一社)
- ・日本臨床工学技士会 災害対策委員会 (公社)
- ・日本血液浄化技術学会 災害対策委員会 (一社)

被災地域を後方からサポートする

2. 日本災害時透析医療協働支援チーム

(Japan Hemodialysis Assistance Team in disaster
:JHAT)

「JHATのおもな活動」

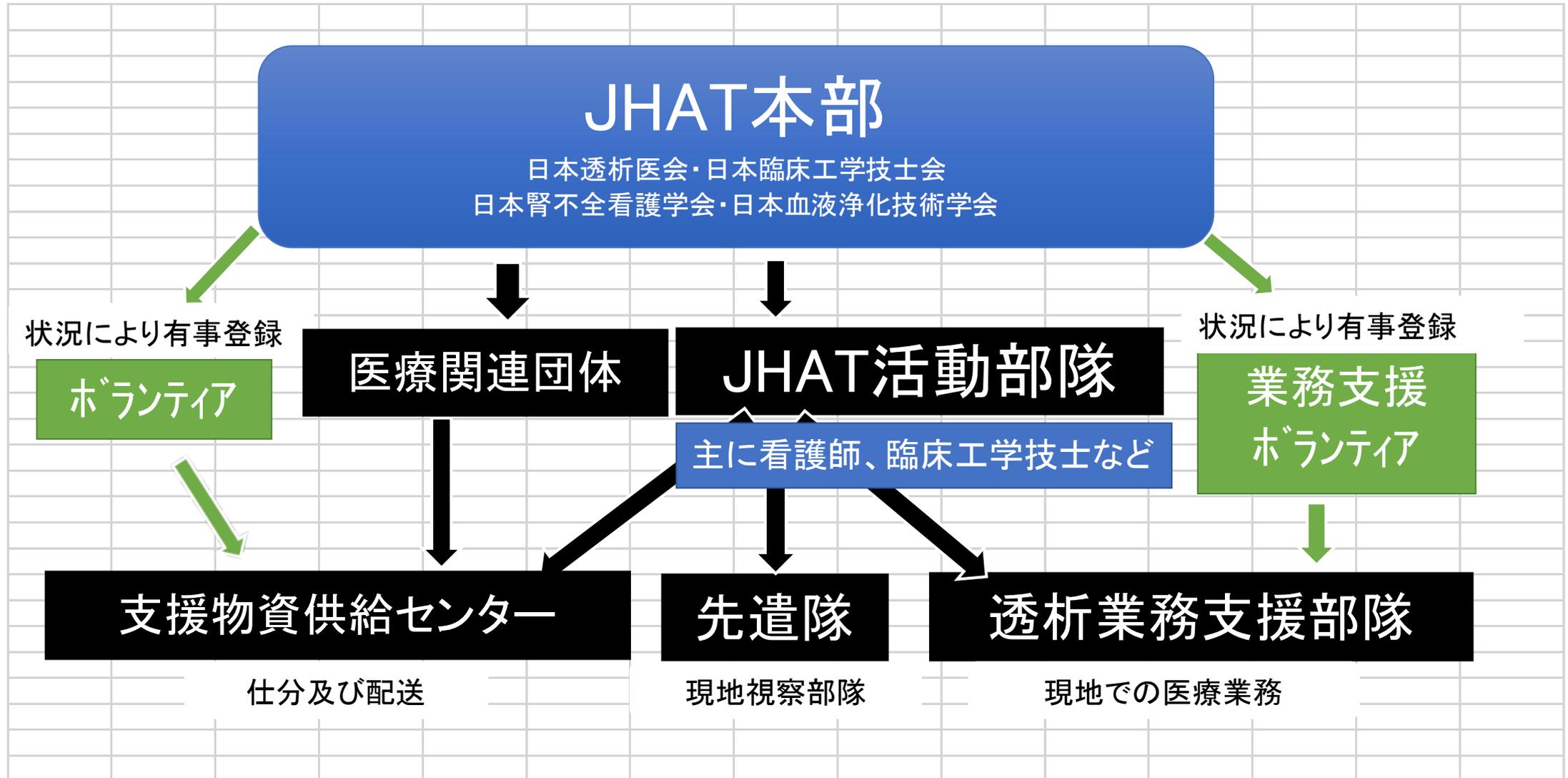
①先遣隊（現地施設部隊）

②透析医療従事者への災害時支援活動

メディカルスタッフ・医療支援ボランティアの派遣（現地への医療業務）

③医療施設への支援物資 仕分け及び配送

JHATの活動体制



隊員の役割

(1) 先遣隊

発災直後より被災地に赴いて情報収集を実施し、以降の活動方針を決定するために被災地の状況を本部に伝達する役割を担う。派遣場所についてはJHAT本部より指定された地域を基本とする。

(2) 業務支援

被災した透析施設のスタッフに対し、肉体的・精神的な負担を軽減するために、主に透析業務の支援を実施する。派遣場所は、JHAT本部から指定された透析施設とする。被災の規模によって、JHAT隊員だけでは対応できない状況で、業務支援要員の増員を必要とした場合は、一般（透析医療に従事する看護師及び臨床工学技士）から募集する。

(3) 支援物資供給コーディネート

指定された支援物資供給センターに赴き、物資の仕分け及び配送をコーディネートする。仕分け作業要員（職種不問）については、支援物資共有センター近隣を中心に募集する。

先遣隊の活動

(1) 現地入り準備

①情報交換手段

1. 日本透析医会災害時情報ネットワーク
2. 日本臨床工学技士会災害情報コーディネーター
3. 日本血液浄化技術学会災害対策委員会

②移動手段

1. 公共交通機関
2. 自家用車
3. レンタカー

③衣食住 ④その他 日常生活における必需物品

(2) 現地入り後の情報収集

①施設被災情報 1. 装置 2. 建物 3. ライフライン

②交通情報 道路通行規制、渋滞情報等

③現地の要請 1. 支援物資 2. 業務支援 3. 患者移送・支援透析の要請➡日本透析医会

透析業務支援活動

(1) 業務内容

- ① 穿刺
- ② 治療中の看視業務
- ③ 返血
- ④ シーツ交換
- ⑤ 散乱物の整理等
- ⑥ その他治療に関わる業務

(2) 現地入り後の状況報告

- ① 業務報告・申し送り 「業務手順書の作成・特筆すべき業務内容」

JHATホームページより

JHAT JHATとは▼ 隊員登録▼ リンク

Japan Hemodialysis Assistance Team

JHAT

in disaster

日本災害時透析医療
協働支援チーム

お知らせ

- お知らせ** 第5回JHAT隊員養成研修会（福岡県）募集開始のお知らせ（2019/03/18） **New**
- お知らせ** 第5回JHAT隊員養成研修会開催（福岡県）のお知らせ（2019/03/03）
日時：2019年07月20日～21日（2日間）、場所：株式会社アステム会議室（福岡県福岡市）、定員：100名
- お知らせ** JHATニュース2号がリリースされました（2017/10/01）
- お知らせ** JHAT広報誌（漫画版）配布開始（2017/12/01）
- お知らせ** JHATニュース創刊号（2017/09/01）
- お知らせ** JHAT隊員宣言（WFPRIにて受付）

関係者ログイン

隊員登録時に設定された
IDとパスワードを入力して下さい。

JHAT 活動概要

日本災害時透析医療協働支援チーム（JHAT） 活動概要

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 透析医療災害対策の普及に関すること。
2. 被災地および周辺地域の調査、情報収集に関すること。
3. 支援物資供給センターの設置および運営に関すること
4. 透析医療支援ボランティアの派遣に関すること。
5. 透析医療施設の復旧、透析医療従事者の支援に関すること。
6. 災害時支援活動に必要な教育、研修の実施に関すること。

(運営経費等)

第5条 本会の運営経費は、構成団体に割り当てた年会費、協力団体からの助成金、その他、本会の趣旨に賛同する者および団体の寄付をもってこれにあてる。

発災時における活動要綱

－活動レベルの発出－

【レベル1】

- ・JHAT隊員、情報コーディネーターなどによる被災地情報の収集を開始
- ・震度6弱以上の地震あるいは広域災害

情報の収集は、日本透析医会災害時情報ネットワークメーリングリストを中心に情報収集と情報発信を行う。その他、必要に応じてSNSを組み合わせるなど柔軟な対応を行う。

【レベル2】

- ・被災地および近隣地域のJHAT隊員のみで活動可能な場合
EX) 近隣都道府県の隊員へ先遣隊として被災地派遣を指示
→今後の活動方針

【レベル3】

- ・被災地および近隣隊員のみでの支援活動が困難、長期化などが見込まれる場合
→全国の隊員に向け支援者募集、出勤要請

隊員の資格と登録要件

- (1) 透析医療の**実務経験年数が通算5年以上**であること。
- (2) 医療施設、教育施設、企業などに所属している場合は、登録に関する**所属長の承諾**があること。
- (3) 医療活動中の補償のために**責任賠償保険に加入している**こと。
- (4) JHAT隊員育成のための**研修を受講**していること。
- (5) JHAT本部が定める研修会に参加し、**5年毎に参加証明書をJHAT本部に届け出る**こと。
- (6) 上記の要件を満たしている場合でも、JHAT本部が不適格とみなした場合は登録を認めないことがある。

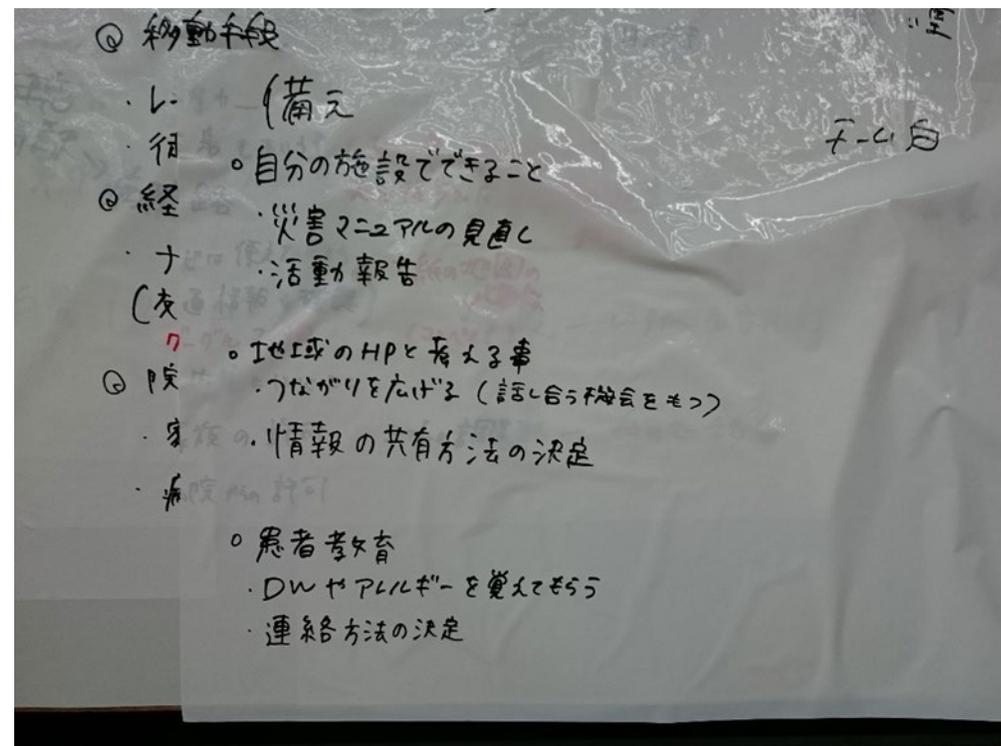
JHAT本部が特別の事情があると認めた

場合には**この限りではない**

第4回 JHAT隊員 養成研修会

2019年2月23日（土）～24日（日）

中部大学 名古屋キャンパスで開催



支援の心得

透析治療の継続には、水、電気、医療材料などのほか、マンパワーが必須

(1) 活動には、身分を明示するものが必須

JHAT隊員証、ビブスなど

(2) 支援-受援者間の良好な関係維持

→郷に入っては郷に従え の精神

(3) 業務の可否、できること、できないこと、希望する業務内容などを明確に

(4) 隊員は、報連相を意識する

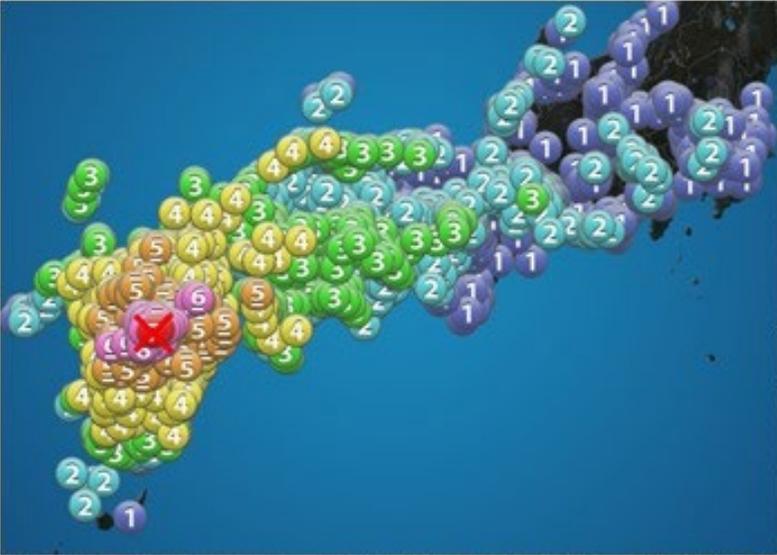
(5) すべては自己完結

身分証明書と活動時着用のビブス



平成28年 熊本地震

被災写真 地震発生



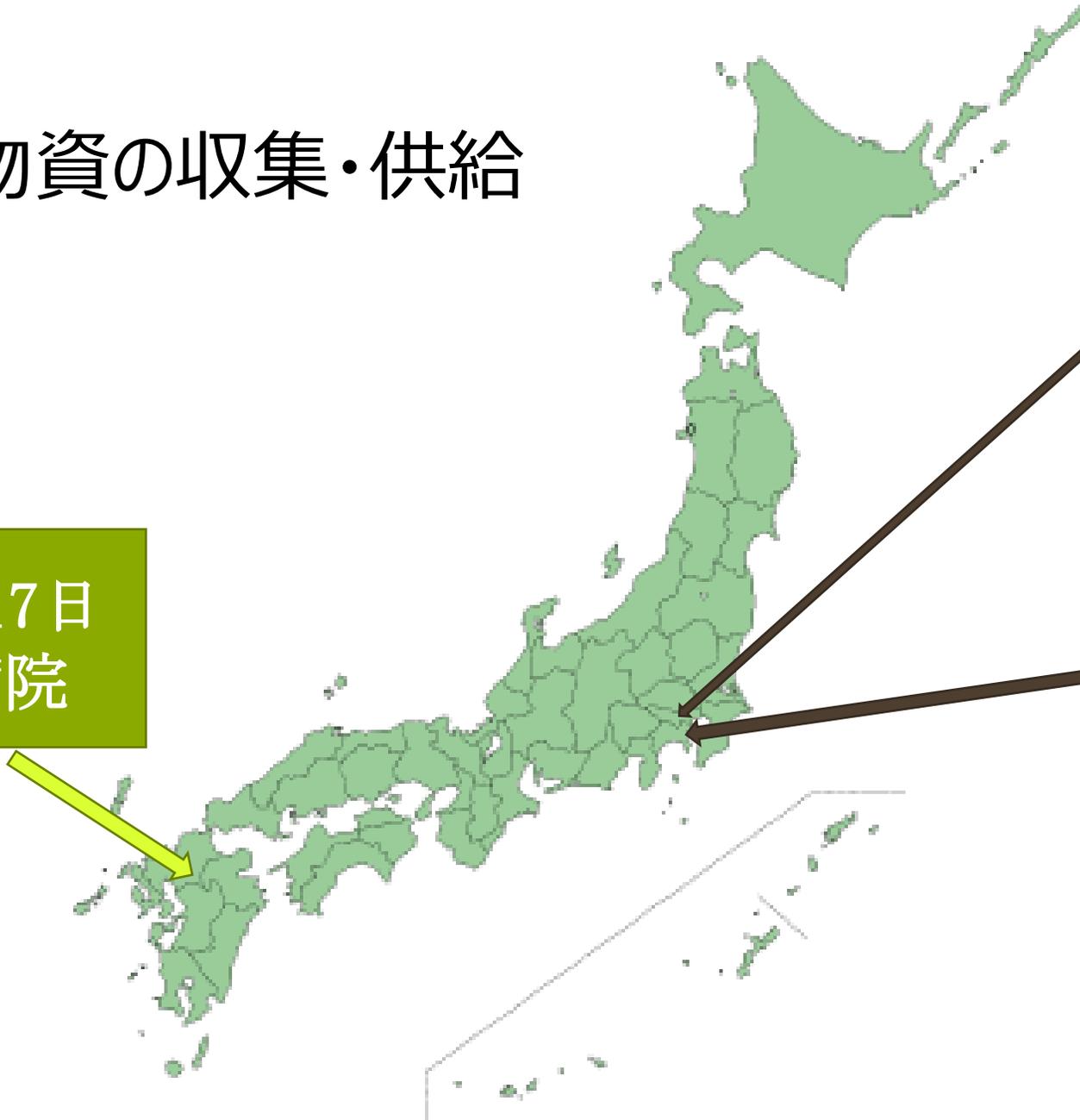
熊本地震でのJHAT活動報告

2016年4月14日	21時26分前震	各報道注視、LINEによる情報交換、 医会ネットワーク情報収集
16日	1時25分本震	JHAT活動開始宣言
17日		支援物資供給センター設置 (久留米市 聖マリア病院)、 支援ボランティア募集開始
18日		第一陣先遣隊派遣、 業務支援ボランティア派遣
5月9日		支援物資供給センター業務終了
5月14日		各施設への業務支援ボランティア終了

支援物資の収集・供給

熊本地震

2016年4月17日
聖マリア病院

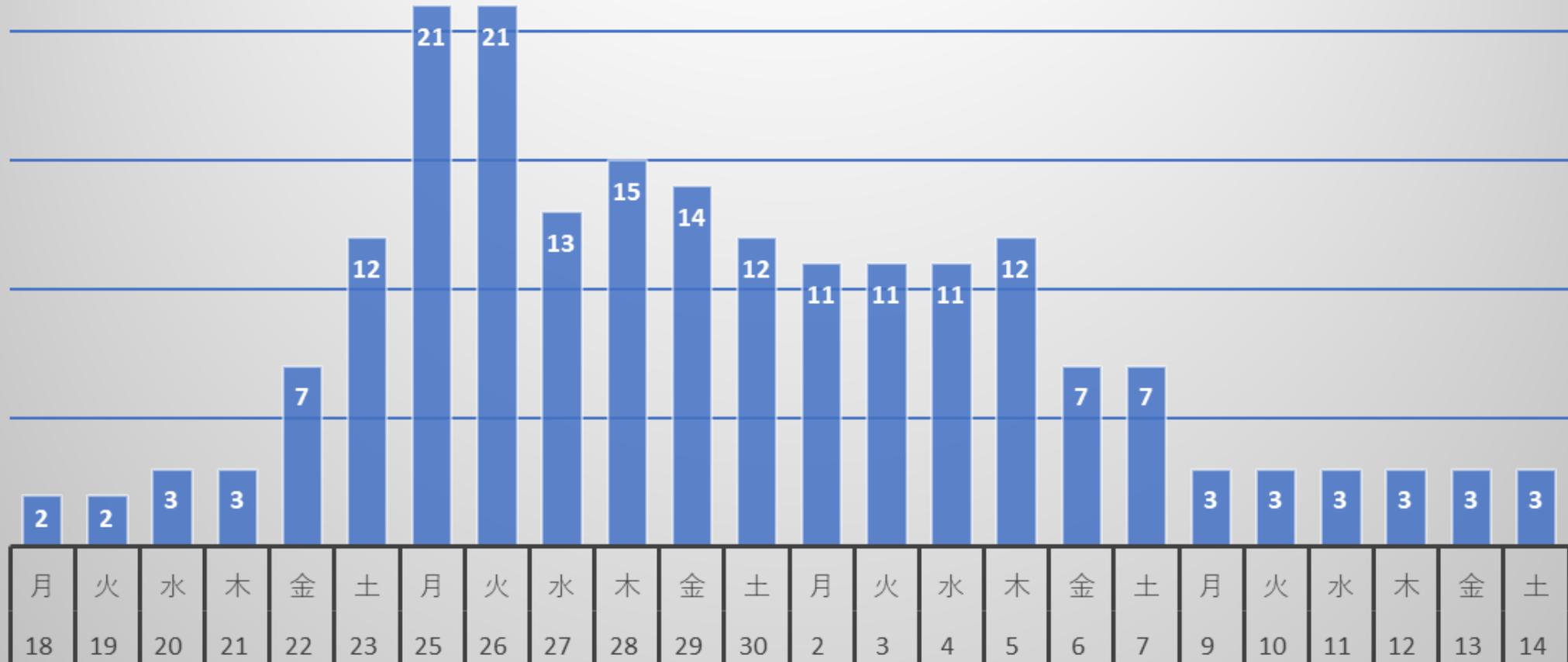


日本臨床工学
技士会事務局

神奈川工科大学



熊本地震における医療支援ボランティア派遣状況



日本透析医会と透析関連団体対応

日本透析医会災害時透析医療対策委員会

山川 智之

JHATには域外搬送の必要性に関する情報収集を依頼

メール一部抜粋

「最重要情報は域外搬送の必要性です。

現在、済生会熊本病院が2時間5クールでの受け入れを表明していることなどから域外搬送なしですむ可能性もありますが、そこを情報収集の最重点として下さい。

特定医療法人仁真会白鷺病院

山川 智之」

結果的には通信障害がほとんどなく、先遣隊が域外搬送の必要性などの情報収集を行う必要性はなかった。

しかし、通信障害がある場合は、情報のコーディネーションがJHATの災害発生直後の最重要任務になると思われる。

熊本地震における日本透析医会の対応

1. 福岡県透析医会によって福岡県下で数百人規模の受け入れ体制が整備された。
2. 断水等により熊本県下で30施設が透析不可となっていたが、厚生労働省と熊本県透析施設協議会、熊本県が連絡をとり、県と自衛隊が透析施設に優先的に給水を行ってもらうことで、支援透析はほぼ熊本県下で完結し、組織的な透析患者の移動は、数十人にとどまった。
(久留米大学へ入院患者10名、阿蘇地区から大分へ数名)
3. 透析施設間の情報共有は、通信の障害がほぼなかったため、透析医会災害情報ネットワークが有効に使われた。

支援活動の現状と問題点

支援活動の現状と問題点 1

現場より

- ・支援要請が必要にもかかわらず、依頼しないで自ら頑張る。（県民性？）
- ・「JHAT」の認識不足・情報不足
- ・被災地域内施設では、他施設の情報に乏しい。
- ・受け入れ側とボランティア側との業務範囲認識の違い。

視察部隊

- ・JHATとしての標榜の必要性
- ・道路事情の悪さと土地勘の無さによる交通障害
- ・保証

補償について

業務中の補償

- ➡ 個人の賠償責任保険に入っていれば、別の施設で働いていても医療行為に対して補償される

自宅を出てから帰るまでの道中や宿泊中の補償

- ➡ 天災担保特約付き国内旅行傷害保険に加入
JHAT本部が代理で加入します

支援活動の現状と問題点 2

業務支援部隊

- ・ボランティア活動期間の基準
- ・ボランティアの引継ぎ（申し送り）
- ・被災施設スタッフとのコミュニケーション
- ・事前情報と現地情報の解離
- ・自己責任の標準化

支援物資供給センター

- ・必要物品の把握
- ・配送元および配送先の情報が錯綜
- ・ボランティア（仕分け人員）の確保

まとめ ～JHAT隊員に求められること～

- 発災後 3 ～ 4 日くらいまでは被災スタッフは外部の人間を現場のスタッフとして迎え入れる余裕はない。被災地の情報収集と支援地域との情報コーディネーターに徹するべき

「被災施設が何を必要としているかを伝える！！」

- 発災後 4 ～ 7 日の被災スタッフが疲弊してくる時期になると、**被災スタッフの業務支援、生活支援、物資供給が必要**となってくる。
被災スタッフに余計な仕事を増やさないことを基本に！

Outline : 講演25分・質疑応答5分

1. **JHATの活動とは** **15分**
2. **受け入れ側の対応・心得** **10分**
3. **質疑応答** **5分**

平時と災害時 透析医療体制のアンバランス

・災害拠点病院（公的基幹病院）

- －透析室は一般に小規模
- －維持透析開始時までの医療を担当し、その後民間透析施設に紹介する。
- －公的援助などの資金調達は比較的容易。
- －病院設備・防災設備・通信設備は充実している。

・透析施設（民間施設）

- －透析ベッド数・透析設備は規模に応じて確保されている。
- －主に維持透析医療を提供する。
- －民間なので公的援助は乏しく防災設備は不足しがち。

支援体験談

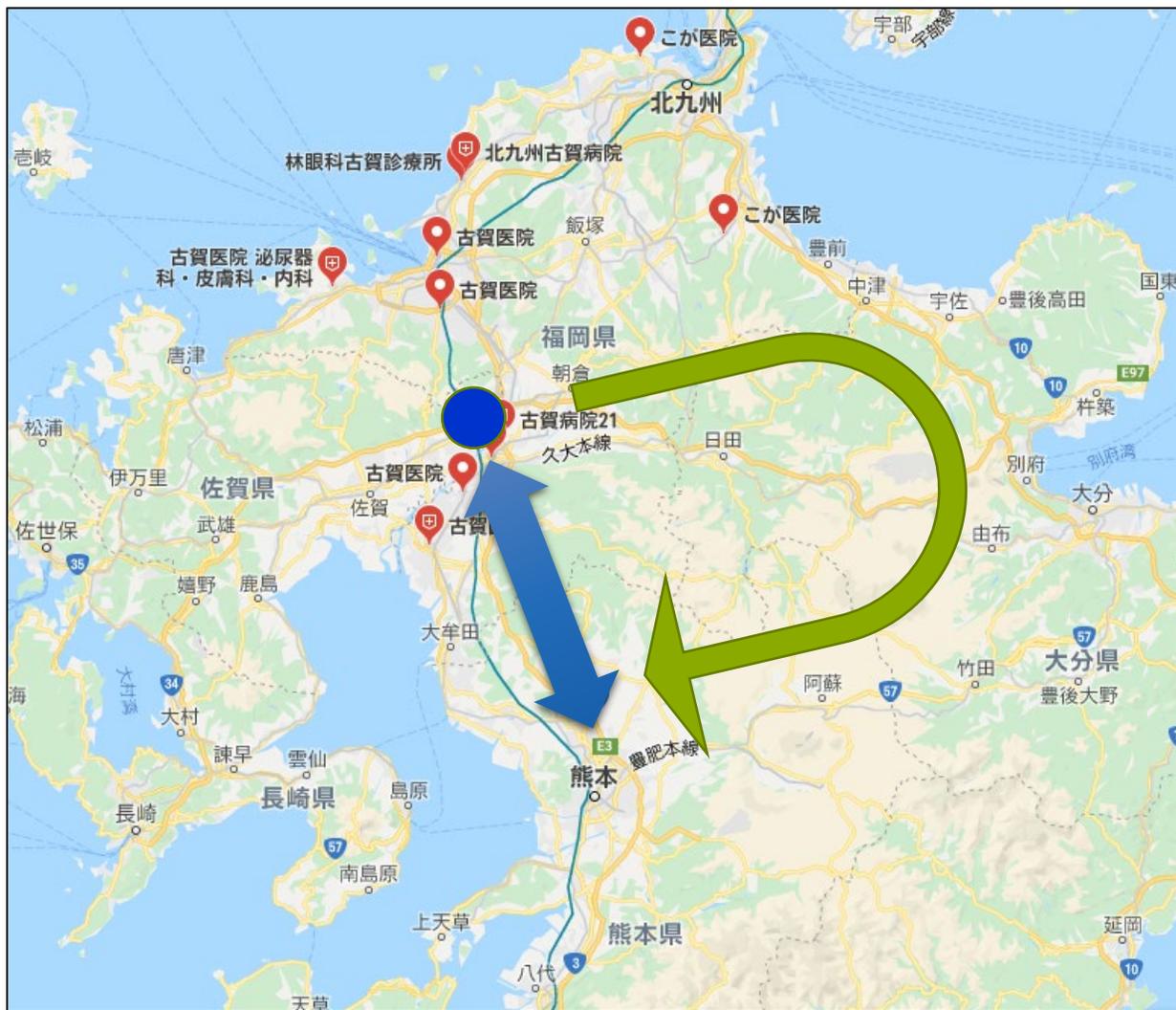
～自施設がJHAT隊員を受け入れるとき
あなたは何を考えますか？～

支援体験談

2016年4月に発生した熊本地震においてJHAT初の透析業務支援ボランティア（第1陣）として被災地に派遣がありました。

本震発生3日後から5日間にわたる実績を報告します。

(社) 天神会 古賀病院グループ (福岡県久留米市)



4月16日 (土) 01:25

熊本本震 本震発生

M7.3 最大震度7

4月17日 (日) 11:29

日本血液浄化学会から

被災地支援者募集の

メールが届く

4月18日 (月)

院長にボランティア参加許可

4月19日 (火)

朝6時 久留米出発

派遣先 ○○○○病院

- ・ 透析センター 47床
- ・ 透析患者 110名

【スタッフ数】 22名

看護師	6名	准看護師	7名
臨床工学技士	5名	看護助手	3名
クレーク	1名		

欠勤：看護師 3名（遠方避難）

勤務：避難所生活 2名

車中泊生活 7名

保養所生活 1名

通行止めや渋滞で通勤困難者多数



第1日目 4月19日 (火) 12:00~17:00

時間	阿蘇温泉病院	活動内容	最大震度
12:00	1クール返血	医療スタッフは忙しそうで看護助手について行動 ベッドメイキング・テーブル清拭・物品清拭 認知症患者の見守り・リネン交換	3 (熊本)
	2クール開始		
		配膳・下膳・食事介助・送迎車へ移送	3 (熊本)
		返血後の血液回路の片づけ	3 (阿蘇)
		現場も落ち着いてきたので技士長と看護師長・主任 にあいさつ。バイタルチェック・モニターチェック (実施サインは自分の名前)	3 (阿蘇)
15:00		プライミング準備・セッティング	3 (阿蘇)
		支援物資の搬入 (九州臨床工学技士会より)	3 (阿蘇)
17:00	2クール返血	業務終了	5強 (熊本)

第1日目 4月19日（火）17：00～



宿泊先：〇〇ホテル一番館 〇〇

災害のために営業停止中

【住】

- ・個室の水道、トイレやエレベーターの使用不可
- ・入浴は別館の源泉かけ流し温泉利用

【食】

- ・持ち込みの食材
- ・第2日目（夕）～第4日目（朝）まで朝食と夕食はホテルのまかない食

【衣】

- ・ジーンズとジャンパーで就寝

第2日目 4月20日 (水) 8:00~18:00

時間	阿蘇温泉病院	活動内容	詳細	最大震度
8:00	1クール開始			3 (熊本)
9:00		穿刺業務 ボランティア2名、透析センターの半分ずつにわかれて業務を行う	・わからないことは誰にでも聞いた ・教えて頂いたことはボランティアは同士で教えあった	
		バイタル・モニターチェック		
12:00	1クール返血	返血・抜針・止血		3 (熊本)
	2クール開始	開始 穿刺者の介助	・穿刺はしていない	
	入院患者の移送 (自衛隊)	ベッドメイキング・物品清拭 認知症患者の見守り・リネン交換 返血後の血液回路の片づけ		4 (大分)
15:00		バイタル・モニターチェック		3 (熊本)
		プライミング準備・回路セッティング		3 (熊本)
	夜間開始			3 (熊本)
18:00		業務終了		

第3日目 4月21日（木） 8:00~17:00

時間	阿蘇温泉病院	活動内容	最大震度
	申し送り 「スタッフで体調不良は し申し出るように」		3（大分） × 2回
8:00	開始	業務開始 担当をチェンジ（透析センターの半分） 穿刺者の介助	3（熊本） 3（大分）
9:00		バイタル・モニターチェック	3（熊本）
12:00	返血	返血後の抜針・止血	3（阿蘇）
	ボランティアCE 1名 到着	ベッドメイキング・オーバーテーブル物品清拭	3（熊本） 3（阿蘇）
	スタッフ早退あり	認知症患者の見守り・リネン交換	
		返血後の血液回路の片付け	
		プライミング準備・回路セッティング	
17:00		業務終了	4（阿蘇）

第3日目 4月21日（木） 8:00~17:00

ボランティアからの差し入れ

前日にスタッフに必要物資の機器取りを行い連絡していた。

- ・サラダ50食
- ・プリン
- ・ゼリー
- ・ヨーグルト
- ・レトルトハンバーグ
- ・果物缶詰
- ・子供用のお菓子

第5日目 4月23日（土） 第1陣最終日

技士長震災後初の休み・看護師長休み取得

時間	阿蘇温泉病院	活動内容
8:00	開始	業務開始
9:00		透析センターの1/3を担当 バイタル・モニターチェック
	お昼交代時 看護師2名とボランティア3名で 患者42名観察	
12:00	返血	返血後の抜針・止血
		ベッドメイキング・オーバーテーブル、物品清拭
		認知症患者の見守り・リネン交換・回路片づけ
14:00		業務終了（返血業務が落ち着いてから）

今回は、支援を受ける立場です。
あなたは支援先のクリニックの責任者です。
明日から4名の支援者が来院することになりました。

①どのような受け入れ態勢を取ればよいか？

②業務分担を考える

支援者に任せる仕事は？ 院内にしか出来ない仕事は？

ご清聴ありがとうございました

Japan Hemodialysis Assistance Team

JHAT

in disaster

日本災害時透析医療協働支援チーム

隊員募集！

被災された施設、スタッフや透析患者さんに
共助の力をお貸し下さい。

JHAT隊員として一緒に活動しませんか!?

JHATは、被災地における透析スタッフの
支援を目的に

- ①先遣隊（現地調査隊）
- ②業務支援
- ③支援物資供給

などの活動を行っています。

日本透析医会 日本血液浄化技術学会 日本腎不全看護学会 日本臨床工学技士会

詳細は、ホームページでご確認ください

<https://jhat.jp>

<JHAT事務局>

神奈川県川崎市K4号館407号室

E-Mail: info@jhat.jp

JHAT隊員 登録申請手順

1. JHATホームページ <https://jhat.jp/>
から登録申請が可能です。
スマホからも登録できます。



2. 活動要綱、心構え、Q&Aを、ご一読ください。

隊員になるためには

- 1) JHAT隊員登録申込みと施設長承諾書
 - 2) JHAT隊員養成研修の受講
- 以上、2点をみとす必要があります。



※ 1)のみでも隊員登録はできますが、登録から3年以内に必ず隊員養成研修を受講していただきます。

※ フリーの看護師・臨床工学技士(定年退職後の看護師や臨床工学技士など)は、施設長承諾書が無くても登録できます。

3. WEB登録のボタンから、申請ページに移動します。
登録は以下の順に進んでいきます。

- (1) ID(任意の4文字以上の半角英数字記号)と、メールアドレスの登録
- (2) 個人情報の登録
- (3) 施設長承諾書のダウンロード
(施設長の承諾書を提出されると、本登録となります)
- (4) 登録受付完了メールが届きます
- (5) 申請より2週間程度で、関係者サイトを使用できます

日本災害時透析医療協働支援チーム「JHAT」
Japan Hemodialysis Assistance Team in disaster